

証券コード：5491

# 株主便り

第119期  
2026年3月期



毎年3月・9月発行

## Contents

P1 トップメッセージ

P3 トピックス

P5 業績ハイライト

P7 会社概要・株主メモ



人と地球にやさしい新たな価値を共創する  
**Multi & Hybrid Material 企業**

“NIPPON KINZOKU 2030”への新たなステージが始まる。  
進化する社会のニーズを見据え、未来を拓く日本金属へ。



**日本金属株式会社**

# トップメッセージ



株主の皆様には、平素より多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。「株主便り2026年3月号」をご高覧いただくにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

## 取締役社長 下川 康志

当連結会計年度は、世界的な経済情勢の不透明感や自動車産業の構造変化など、激しい環境変化に直面した一年でした。しかし、当社はこれを「変革の好機」と捉え、2025年4月の組織再編を皮切りに、経営の効率化と高付加価値化を断行してまいりました。

具体的には、2025年4月1日付で、4本部体制を「製販本部」「管理本部」「技術本部」の3本部へ再編、製販一体を強化するとともに、取締役を2名削減し、意思決定の迅速化を図りました。

新体制のもと、歩留まり改善や生産性向上などによる製造原価低減の徹底、コスト上昇分や収益改善のための価格改定、高収益アイテムの増販を推進しました。また、グループ内外のネットワークを活用し、あらゆる試作・受託ニーズに応える窓口である「プロダクションプロセス・サポート部」を新設し、「日本金属に頼めば解決する」というブランド認知の拡大と、新たなビジネスチャンスの創出に注力しています。

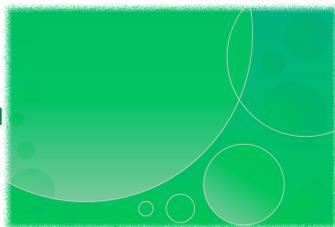
## 2026年3月期 連結業績ハイライト

構造改革と採算重視の経営により、第2四半期に損益は黒字転換しており、第3四半期の売上高は前年同期比1,794百万円（4.6%）減収の37,183百万円と自動車関連の苦戦により微減となりましたが、損益面につきましては、営業利益は662百万円（前年同期は191百万円の損失）、経常利益は427百万円（前年同期は324百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は341百万円（前年同期は382百万円の損失）となりました。

## セグメント別概況

### ①みがき帯鋼事業

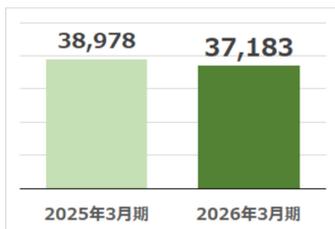
電子部品関連では、データセンター向けHDD部品や新型ゲーム機部品、コイン電池などの受注が回復しました。一方で、主力である自動車関連用途は、日本車の販売不振（欧州・中国でのEVシフト出遅れ等）



## 2026年3月期第3四半期の連結業績

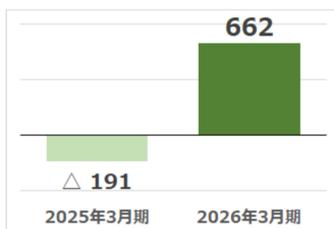
### 連結売上高

単位：百万円



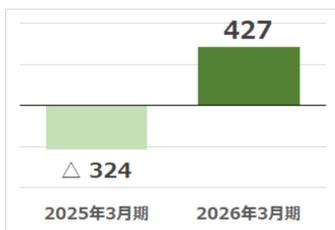
### 連結営業損益

単位：百万円



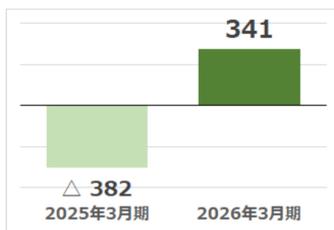
### 連結経常損益

単位：百万円



### 連結当期純損益

単位：百万円



の影響を受け、当第3四半期連結累計期間のみが帯鋼事業の売上高は、前年同期比186百万円（0.6%）減収の30,920百万円と微減になりました。

損益面では、高収益製品である黒加飾ステンレス「ファインブラック」、箔・TA材、注射針用ステンレス材の増販が寄与しました。生産効率の改善と販売価格の是正も功を奏し、営業利益は前年同期比542百万円（126.9%）増益の970百万円と大幅な増益を達成いたしました。

### ②加工品事業

岐阜工場取扱製品では、文具向けにおいて当社主力ユーザーの製品在庫の調整が進展したことによる受注回復に加え、従来の加工技術をさらに細径まで深化させ開発した内面高精度管において中国医療機器メーカーなどからの引き合いが拡大しました。福島工場取扱製品では、治水関連やエネルギー（LNG）関連用途などを獲得し、生産工場等の経路（キャットウォーク）向けなどの平鋼製品などが堅調に推移した一方で、主力製品であった自動車駆動部品用高精度異形鋼製品の受注が2025年3月期に終息した結果、当第3四半期連結累計期間の加工品事業の売上高は、前年同期比1,608百万円（20.4%）減収の6,263百万円となりました。損益面につきましては、営業利益は前年同期比154百万円（71.5%）増益の371百万円となりました。

今期最大の目標である「3期ぶりの黒字転換」を確実に達成し、早期の復配に向けて全社一丸となって邁進してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

# トピックス

## 第21回ステンレス協会賞にて「Fine Black」仕上が優秀賞を受賞しました

当社のメタリック感と深みのある黒が特長の黒加飾ステンレス鋼「Fine Black」仕上（以下「FB」仕上）が、ステンレス協会（JSSA）が主催する「第21回ステンレス協会賞」において、優秀賞を受賞しました。

ステンレス協会賞はステンレス鋼の新しい用途開発や普及に顕著な功績のあった作品を顕彰する制度で、隔年で募集・表彰されています。

当社の「FB」仕上は、ステンレスの質感を生かしつつ、漆黒の深みのある意匠性と、過酷な加工にも耐えうる密着性・耐食性を高度に両立させた点が、ステンレス鋼の付加価値を大きく高めるものとして高く評価され、このたび優秀賞に選出されました。



詳細はこちら：

第21回ステンレス協会賞受賞作品

<https://www.jssa.gr.jp/prize/21/21-1/ap ply.htm>



Fine Black 仕上げ（黒加飾ステンレス鋼）

<https://www.nipponkinzoku.co.jp/products/fineblack>



## 極薄電磁鋼帯の材料データが電磁界解析ソフトウェア『JMAG』に登録されました

2025年9月、株式会社JSOL（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：永井健志、以下「JSOL」）が開発する電磁界解析ソフトウェア『JMAG』の材料データベースに、小型高速モータに最適当社の無方向性極薄電磁鋼帯「STシリーズ」の材料データが搭載されました。

『JMAG』は、特にモータや発電機、トランス、アクチュエーターといった電気機械や電子部品の設計・開発において、その性能や挙動を予測・評価するために広く利用されています。本搭載により、JMAGユーザーのお客様はこれまで必要だった材料データの入力作業から解放され、シミュレーションを活用したモータ設計・開発プロセスを大幅に効率化し、開発期間の短縮に大きく貢献します。

当社は方向性極薄電磁鋼帯「GTシリーズ」でも多くの採用実績があり、今回『JMAG』に搭載された「STシリーズ」と合わせ、これらの極薄磁性材料が、お客様の高効率モータ、次世代パワーエレクトロニクス機器、高周波トランス、インダクタなどにおける、革新的な製品開発を強力に後押ししてまいります。

詳細はこちら（JMAGホームページ）<https://www.jmag-international.com/jp/>





## 自己株式の取得を行いました。

当社は2025年11月4日(火)、東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による自己株式の取得を実施しました。

### 【取得の内容】

取得した株式の総数：238,100株

株式の取得価格の総額：200,004,000円

### 【参考】（2025年12月31日時点）

発行済株式総数：6,700,000株

保有自己株式数：244,064株（3.6%）

当社は、計画概要を2020年3月25日、数値目標を2021年3月25日に発表した第11次経営計画「NIPPON KINZOKU 2030」（2020年度～2029年度の10ヶ年計画）において、次世代技術の普及により事業環境が急激なスピードで変化することが想定される中、将来の新たなニーズに対応する新技術・新製品を主力とする事業構造の変革を図り、ビジョン「人と地球にやさしい新たな価値を共創するMulti & Hybrid Material企業」の実現と創立100周年にあたる2030年に向けた企業価値の向上と持続的成長に取り組んでおります。

その経営計画を推進していく中、当社は財務戦略として、成長投資、株主還元及び財務体質の安全性のバランスを確保しながら、経営資源を最適に配分することを基本方針としており、株主還元の充実を図るため、自己株式の取得について検討していたところ、当社の主要株主より、保有する当社株式の一部を売却する意向を有している旨の連絡を受けたため、当該売却による当社株式需給への影響を緩和するとともに、資本効率を改善し、既存の株主の皆様にとっては、EPS(一株当たり当期純利益)の向上につながることから、自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による自己株式の取得を実施しました。

当社の利益配分につきましては、今後も安定的かつ継続的な利益の還元を基本とし、業績内容や財務体質の状況などを総合的に勘案して判断してまいります。

# 第119期第3四半期業績ハイライト

## ◆みがぎ帯鋼事業

売上高比率

83.2%



サーバー用ハードディスクや新型ゲーム機向けの機構部品、自動車、家電で使用するコイン電池用途などの電子部品関連の受注が回復した一方で、主力製品である自動車関連用途は、海外向けでは中国での景気低迷の継続や当社製品のシェアが高い日本の非EV車から海外の新エネルギー車（EV車・PHV車など）へのシフトが一層拡大した結果、当第3四半期連結累計期間のみがぎ帯鋼事業の売上高は、前年同期比186百万円（0.6%）減収の30,920百万円、営業利益は前年同期比542百万円（126.9%）増益の970百万円の利益となりました。

## トヨタ自動車株式会社との共同特許を出願

トヨタ自動車株式会社（本社：愛知県豊田市、取締役社長：佐藤恒治、証券コード：7203、以下「トヨタ自動車」）と「セパレータ及びその製造方法」について共同で特許出願を行いました。

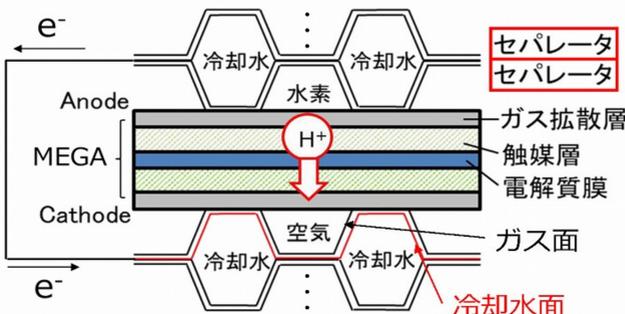
当社はトヨタ自動車と表面処理技術の開発を推進しております。その中で燃料電池向け「セパレータ及びその製造方法」について開発を進めており、今回の共同での特許出願に至りました。

燃料電池とは、水素と酸素の化学反応により水を生成する過程で電気を作り出す装置で、電解質膜をガス拡散層およびセパレータで挟み込んだ構造（セル）を何層も積み重ねて作られております。そのセパレータには電気を集めて流す役割があるため低接触抵抗が求められており、表面処理技術の開発を推進しております。

本発明がセパレータに適用されることで、冷却水面に導電性及び耐食性を付与する成膜工程が不要となり、燃料電池の製造コスト削減につなげることが可能となります。

詳細はこちら（プレスリリース）

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000065.000063791.html>

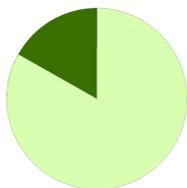


セル断面模式図

## ◆加工品事業

### 売上高比率

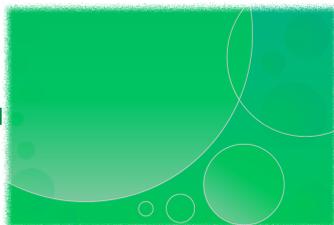
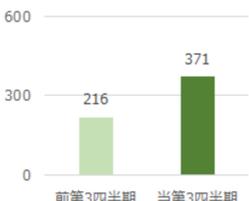
# 16.8%



#### 売上高



#### 営業利益



## 岐

阜工場取扱製品では、内面高精度管において引き合いが拡大した一方、福島工場取扱製品では、自動車駆動部品用高精度異形鋼製品が終息した結果、当第3四半期連結累計期間の加工品事業の売上高は、前年同期比1,608百万円（20.4%）減収の6,263百万円、営業利益は前年同期比154百万円（71.5%）増益の371百万円となりました。

## ウイスキー貯蔵用樽に使用するバンド材（帯鉄）の製造・販売を開始

**株** 式会社ウィズワン（本社：大阪府大阪市中央区、代表取締役：澤田宗士、以下「ウィズワン社」と共同開発した、ウイスキー貯蔵用樽に使用するバンド材（帯鉄）の製造・販売を開始しました。

ウィズワン社は、兵庫県養父市に開設した養父蒸溜所で2023年からウイスキーの製造を開始しており、これに伴い貯蔵用樽のリメイクを自社で行う計画を進めていました。これまでウィズワン社がウイスキー製造に用いている樽本体は、すべて海外からの輸入に頼っていましたが、リメイクの際に樽を締め付けるバンド材については、国内からの入手を強く希望されていました。しかし、加工の難しさから、国内の多くのメーカーでは対応が困難とされていました。

当社は福島工場において、熟練の技術者たちが長年培ってきたロールフォーミング技術と異形圧延加工技術を組み合わせることで、この難易度の高い加工に挑戦いたしました。約1年にわたる試作開発を経て、高耐食めつき鋼板を使用しながら、樽の稜線に沿ったテーパ角を持つリング形状を高い精

度で製造する技術を確立し、量産開始に至りました。

詳細はこちら（プレスリリース）

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000064.0>

00063791.html



ウイスキー貯蔵用樽



バンド材（帯鉄）

# 会社概要・株主メモ

## ◆会社概要 (2025年12月31日現在)

創 業 1930年11月10日  
 設 立 1939年12月2日  
 本店所在地 東京都板橋区舟渡四丁目10番1号  
 本社事務所 東京都港区芝五丁目29番11号 G-BASE田町10・11階  
 電話 (03) 5765 - 8111 (大代表)  
 資 本 金 68億5千7百万円  
 連結従業員数 807名  
 当社従業員数 540名

## ◆株主メモ

事業年度 毎年4月1日から  
 翌年3月31日まで  
 の1年  
 定時株主総会 毎年6月  
 株主名簿管理人 東京都千代田区  
 丸の内一丁目3番3号  
 みずほ信託銀行  
 株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主 配当金受取方法の 変更等)	お取引の証券会社等 になります。	当社の特別口座の口座管理機関みずほ信託銀行へお問い合わせ願 います。 〒168-8507東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
未払配当金の お支払	右記みずほ信託銀行 までお問い合わせ願 います。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
株主総会資料の電 子提供制度(書面 交付請求)につい てのお問い合わせ	お取引の証券会社ま たは右記みずほ信託 銀行までお問い合わせ せ願います。	ホームページ <a href="https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html">https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html</a> 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく 必要があります。



単元株式数 100株  
 公告方法 当社のホームページ (<https://www.nipponkinzoku.co.jp>) に掲載します。ただし、  
 事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合  
 は、日本経済新聞に掲載します。  
 上場取引所 東京証券取引所スタンダード市場